

# 仕様伺書

対象形式：43DV2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		機 番			
お 名 前		営業担当			
注 番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。  
標準設定値とは、一切のご指定がない時の値です。

製造部門	
確認	設定
機番	

## ■ スケーリング設定（形式コード V1, V2, V3 の電圧計の場合はご指定不要です。）

設定項目	設定可能範囲	設定値の意味	入力信号コード	標準設定値	ご指定出荷時設定値	弊社記入欄
表示スケーリング値A	-1999~9999	測定レンジ 0% *1 に 対する表示値の設 定	S4: 0~10V DC	0.00		□ 確認済
			S5: 0~5V DC	0.00		
			S6: 1~5V DC	1.00		
			S0: 指定電圧レンジ	*2		
			SA: 4~20mA DC	4.00		
			SB: 0~20mA DC	0.00		
			SC: 0~10mA DC	0.00		
			SG: 0~1mA DC	0.000		
			SJ: 0~5mA DC	0.000		
SZ: 指定電流レンジ	*2					
表示スケーリング値B	-1999~9999	測定レンジ 100% *1 に対する表示値の 設定	S4: 0~10V DC	10.00		□ 確認済
			S5: 0~5V DC	5.00		
			S6: 1~5V DC	5.00		
			S0: 指定電圧レンジ	*2		
			SA: 4~20mA DC	20.00		
			SB: 0~20mA DC	20.00		
			SC: 0~10mA DC	10.00		
			SG: 0~1mA DC	1.000		
			SJ: 0~5mA DC	5.000		
SZ: 指定電流レンジ	*2					

\*1、測定レンジ 0%、測定レンジ 100%とは、入力信号コードで示す範囲の最小値、最大値を示します。  
(例：SA 4~20mA の場合、測定レンジ 0%：4.00mA 測定レンジ 100%：20.00mA)

\*2、ご指定レンジと同じ値となります。

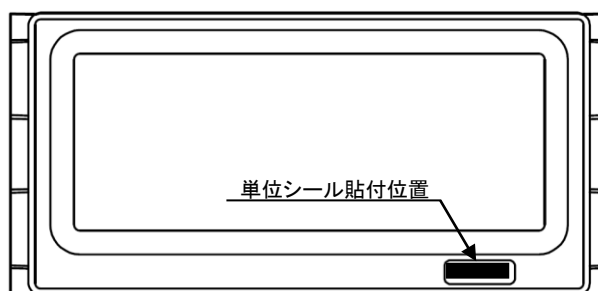
■表示設定

設定項目	設定可能範囲	設定値の意味	標準設定値	ご指定出荷時設定値	弊社記入欄
移動平均回数	AoFF	移動平均処理なし	AoFF	<input type="checkbox"/> AoFF	<input type="checkbox"/> 確認済
	A 2	移動平均 2 回		<input type="checkbox"/> A 2	
	A 4	移動平均 4 回		<input type="checkbox"/> A 4	
	A 8	移動平均 8 回		<input type="checkbox"/> A 8	
	A 16	移動平均 1 6 回		<input type="checkbox"/> A 16	
輝度調整	C 1	輝度 1 (暗)	C 5	<input type="checkbox"/> C 1	<input type="checkbox"/> 確認済
	C 2	輝度 2		<input type="checkbox"/> C 2	
	C 3	輝度 3		<input type="checkbox"/> C 3	
	C 4	輝度 4		<input type="checkbox"/> C 4	
	C 5	輝度 5 (明)		<input type="checkbox"/> C 5	

■単位シールの貼付

設定項目	設定可能範囲	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄	
単位シール	DC, AC, mV, V, kV, $\mu$ A, mA, A, kA, mW, W, kW, var, kvar, Mvar, VA, Hz, $\Omega$ , k $\Omega$ , M $\Omega$ , cm, mm, m, m/sec, mm/min, cm/min, m/min, m/h, m/s <sup>2</sup> , inch, $\ell$ , $\ell$ /s, $\ell$ /min, $\ell$ /h, m <sup>3</sup> , m <sup>3</sup> /sec, m <sup>3</sup> /min, m <sup>3</sup> /h, Nm <sup>3</sup> /h, N·m, N/m <sup>2</sup> , g, kg, kg/h, N, kN, Pa, kPa, MPa, t, t/h, °C, °F, %RH, J, kJ, MJ, rpm, sec, min, pH, %, ppm	左記で示す範囲の単位の中から選択します。		単位シールの貼付無し	<input type="checkbox"/> 確認済

※単位シールの貼付位置



## ■解説

### ①各種設定項目（表示スケーリング値 A、表示スケーリング値 B）の決定方法

1) 次に示す計算式で、SA（表示スケーリング値 A）と SB（表示スケーリング値 B）を計算します。

※スケーリング設定の計算式

$$\begin{aligned} SA &= (Rz \cdot Dspan + Dz \cdot Is - Ds \cdot Iz) / Ispan \\ SB &= (Rs \cdot Dspan + Dz \cdot Is - Ds \cdot Iz) / Ispan \end{aligned}$$

Iz：入力信号 0%

Is：入力信号 100%

Dz：希望表示値 0%

Ds：希望表示値 100%

Rz：測定レンジ 0%

Rs：測定レンジ 100%

Dspan：表示スパン (Ds-Dz)

Ispan：入力スパン (Is-Iz)

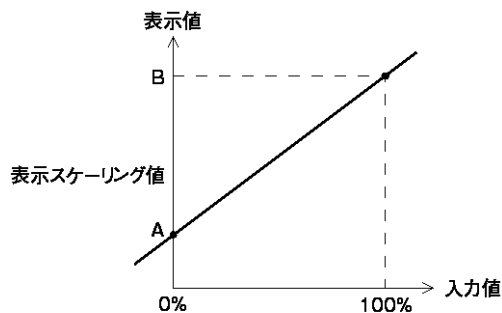
2) 計算した、SA、SBの結果が、設定可能範囲内（-1999～9999）にあるかを確認します。  
Rz=Dz かつ、Ds=Rs の条件であればスケーリングしません。確認不要です。

3) 設定可能範囲を越えていれば希望表示値の桁数を減らして、再度、計算します。  
この様にして、範囲内になるよう桁数を調整した結果を、本仕様何書に記入します。  
設定可能範囲を越えていなければ、そのまま、計算した結果を記入します。

### ②正スケーリング、逆スケーリングの違い

#### ・正スケーリング

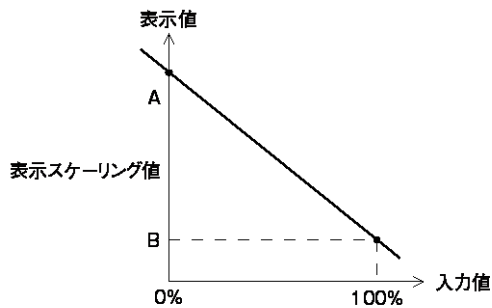
入力値が増加するに従い、表示値が増加します。



→ この場合、表示スケーリング値 A < 表示スケーリング値 B の条件となります。

#### ・逆スケーリング

入力値が増加するに従い、表示値が減少します。



→ この場合、表示スケーリング値 A > 表示スケーリング値 B の条件となります。